

“外部人材×民間活力”で地方創生 長岡で挑戦する 地域おこし協力隊を50人に増員

長岡市は、様々な分野で専門的な技術や知識を持つ地域おこし協力隊とともに地域力の維持・強化に取り組み、移住・定住の促進につなげてきました。

これまでの取り組みに加え、「長岡版イノベーションによる地方創生」の新たな取り組みの一つとして、外部人材と民間活力の活用により新たな価値の創出や、将来に向けた持続可能なまちづくりを強力に進めるため、継続して活動する隊員18名に加え、来年度の地域おこし協力隊32人を増員します。

1 増員のねらい・効果

【これまでの取り組み】

◎地域性を活かした課題解決

- ・除雪の有償ボランティア組織の立ち上げ
- ・地元産の葡萄を使ったワイナリーの開設
- ・プロバスケットチームと連携したまちづくり
- ・NaDeC BASE を拠点とした4大学1高専との産学官連携

**地域おこし協力隊の斬新な発想と行動力が
地域に新たな価値を生み出す！**

【新たな取り組み】

◎外部人材と民間団体の連携による

新たな価値創造・まちづくりへのチャレンジ

- ・ミライエを拠点としたさらなるイノベーションの機運醸成
- ・女性活躍など多様性への対応
- ・移住定住や外国人など外部人材の受入促進
- ・花火や発酵など観光まちづくりによる関係・交流人口の創出

【長岡市の取組みの特徴】市内で活躍するNPO法人や企業など幅広い分野の民間団体が市担当部局との連携のもと、それぞれの活動に応じた協力隊を受け入れ、まちづくりに挑戦する隊員をサポートしながら、団体自らの成長や発展につなげます。

2 協力隊の増員数

- ・新たに募集する隊員数：32人【資料No.3-2】
- ・継続して活動、募集する隊員数：18人

3 これまでの実績（R6.4.1時点）

- ・採用人数：通算55人（H28～R5年度）
- ・平均年齢（着任時）：32.1歳
20代：33人、30代：10人、40代：5人、50代：4人、60代：3人
- ・退任後の定住状況
38人退任のうち24人定住（定住率63.1%：市内起業11人、市内就職13人）

※地域おこし協力隊とは

三大都市圏をはじめとする都市部から過疎地域などへ移住し、1年以上3年以下の任期で地域ブランドや地場製品の開発・販売・PRといった地域おこしや、農林水産業などへの従事、住民の生活支援などの活動を行う。